

甲斐市立玉幡小学校 令和3年度 学校だより 第7号



チーム玉幡

令和3年7月12日 文責：小林 正彦

甲斐っ子の宝 玉幡小の子ども達



6月の最終週の週末は天候が悪く、7月2日の朝は、大雨注意報が出るほどの降りになりました。そんな中、子ども達はいつも通りに登校してきました。

傘をさしての登校は、いつも以上に気をつけなければなりません。登校班長さんは、普段にも増して大変だったと思います。今回に限らず、いつも下級生のことを考え登校してくれていることにとても感謝しています。

雨の日は、長靴で登校してくる子ども達も多くいます。

ふと、下駄箱はどんな状態になっているか見に行きました。すると、いつも通りの整頓された様子が見られ、とてもうれしくなりました。長靴の大きさに合わせ、小さい長靴は横向きに入れ、大きい長靴は先の方だけ中に入れ、それぞれ工夫して入れていました。甲斐市の教育



方針にある「甲斐っ子の宝」が、子ども達の中に根付いているのを感じました。写真での紹介は1・2・5年生ですが、全てのクラスの下駄箱がきれいになっていました。小さな1年生までできているこの状況は、先生方の日頃の指導及び、ご家庭での声かけや指導があつてのことだと思えます。ありがとうございます。小さなことかもしれませんが、この心がけ一つ一つが、子ども達の成長を支えています。



4年生出前教室の授業

7月6日(火)に、4年生で出前教室の授業が行われました。「出前教室」とは、外部機関の方が学校に来て、その仕事について説明していただいたり体験活動をさせていただけるものです。今回の学習は、「下水道公社」の方が学校に来て、下水道の仕組みや施設の説明をしてくださいました。例年は、



4年生の社会科の学習で、校外学習として見学に行っていました。しかし、コロナウイルスの影響で、施設に行くことができなかったため、「出前教室」という形で学習しました。

下水道の仕組みや施設については、社会科の教科書に載っていますが、実際に働いている人が話をしてくれることは、子ども

達にとってよい経験となります。普通の授業以上に、興味を持って、真剣に話を聞いていました。詳しい学習内容は、学校のホームページに載っていますので、よろしければご覧ください。



1年生のGIGA開き

学校だより第5号で、「GIGA開き」について載せました。その後、各教室でもパソコンを活用した授業が行われています。高学年では、調べ学習において、各自の調べた結果を班で共有することに使っていました。

パソコンを使い始めるのに、どうしても必要になることが文字入力です。この作業が低学年には難しく、先生方も準備に苦労していました。

先日、1年教室で、「GIGA開き」が行われました。

文字の入力の仕方を、一つ一つ丁寧に説明し、みんないっしょに入力作業を進めていました。子ども達は入力の仕方分からないことがあると、黙って手を挙げて先生を待っていました。担任は、その一人一人に教えに行っていました。自分が入力してパソコンの画面に変化が起こると、子ども達からは「すごい」といった喜びの声がきこえてきました。その時の表情は、喜びで輝いて見えました。



子ども達を助ける上で、教える人が多いと進行が進めやすくなります。1年生の「GIGA開き」では、「ギガサポーター」と呼ばれる方が応援にきてくれました。この「ギガサポーター」とは、甲斐市で各校に配置していただいている、パソコン操作のプロの方です。だいたい、月に2回来ていただく予定です。低学年だけでなく、全校的に関わっていただき、より効果的な活動にしていこうと思います。



この方が、ギガサポーターです。

安全のための防犯教室

7月7日(水)に、全校児童対象に防犯教室が行われました。甲斐警察署生活安全課の方やスクールサポートスタッフの方に来ていただき、お話ししていただきました。発達段階に合わせ、低学年(1~3年生)と高学年(4~6年生)の2つに分かれて実施しました。低学年は不審者への対応の仕方、高学年はSNSの安全な使い方について学習しました。コロナの影響があり、実際に触れ合って体験することはできませんでしたが、DVDを見ての学習や、子ども達に寄り添った話の仕方をしていただきました。低学年にとっては長い時間だったと思いますが、子ども達はしっかりと話を聞いていました。



これから長い夏休みになります。今回の学習をいかして、危険なことに巻き込まれず、楽しい生活を送れるように、ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

